

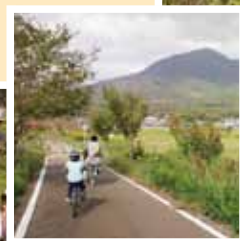
File.1
(一般助成)

(特定) つくば環境フォーラム (茨城県つくば市)
筑波山麓・新たな里山の担い手を育てる谷津田再生事業
<http://www12.ocn.ne.jp/~tef298>

筑波山のふもと、手入れの行き届かなくなった谷津田や周辺の雑木林を整備し、美しい里山を未来に伝える谷津田再生事業。地元住民の声を受け、新たな里山の担い手「通い村民」(ボランティア)を募集し、無農薬の米作りと、里山林の整備を手がけている。米作り活動は、春の田植え、秋の稲刈り、収穫祭まで年間を通じて行われ、あわせて田んぼの生き物観察会を実施。参加者の多くはリピーターで、親子連れが年々増加。炊き出しなどを通じて、地元住民と参加者との良好な関係が築かれてある。



※谷津田(やつた): 湿地帯、低湿地にある湿田。谷地田(やちだ)に同じ



田植えから参加し土の感触にもすっかり慣れた子どもたちは、ズボズボと元気に田んぼのなかへ

最寄りバス停から現地まではサイクリングも可能。CO₂削減のために今後の推奨が期待される



昼食にはつくたてのもちや、地元有志のいも煮汁などがふるまわれる。「わあ、重い!」と順番にもちつきも体験



無農薬の米作りだから、ビオトープと呼ばれるため池には豊かに生物が息づく。カエル、タガメ、サワガニ……子どもたちを中心に自然観察会

成活動レポート グラムで「恵」を伝える

平成20年度の地球環境基金助成事業は、従来の「一般助成」に加え、助成対象のすそ野を広げる「発展助成」、洞爺湖サミットに関連する活動を対象とする「特別助成」の3種、総数205件、総額7億1870万

巻町) 〜グリーンウッドワークの技術移転と普及活動



テストもない、宿題もない「森と風のがっこう」で、遊びのなかから太陽光、風力、水力発電の小さなモデルを学びあう子どもたち。キラキラした目に見えているのは、CO₂を出さず、いのちを循環させる未来の教科書かもしれない

標高700m、10世帯の集落にある廃校を再利用したエコスクール「森と風のがっこう」を舞台に、循環型生活スタイルを体験を通して楽しみながら学ぶ機会を提供。自然エネルギー体験キャンプ、自然体験キャンプ、地域の暮らしや自然・文化に学ぶスタディーツアーなどを開催している。今回、地球環境基金の発展助成の対象となった



File.2
(一般助成)

あそあそ自然学校(富山県中新川郡)
エコドライブの環境教育実践と地域協働普及モデルの構築
<http://www.asoaso.jp>



サイクリングマシンを改造した人力発電自転車

地球温暖化防止を目的に、行政、企業、NPOなどと連携し、富山県内でエコドライブの環境教育実践活動を行うほか、広く全国に向けてインターネット・コンテンツ「エコドライブマイナース6%シミュレーション」、またエコドライブかるた、エコドライブ紙ふうせんなどのグッズを提供、暮らしのなかからの実践を呼びかけている。10月25、26日、富山国際大学学園祭において「エコドライブ・チャレンジ」、富山環境フェア2008(主催Ⅱ富山県)において「ガソリン1リットル大作戦」の体験プログラムが実施された。

地球環境基金助成
体験プログラム
「地球を守る知

円となりました。助成団体のさまざまな活動のなかから、楽しい体験プログラムを通して、子どもを含む参加者に生きた環境情報や知識を伝えていく地域密着型の活動をレポートします。



サイクリングマシンを改造し、ペダルを漕いで100Wの電力を30秒間発電すると、ボールが浮き上がるなどの仕掛けを搭載した人力発電自転車にたくさんの家族連れが挑戦。「もっと電気を大切にしまきゃ」と実感



「車間距離を保って速度のムラをなくす」「空気圧は定期的にチェック」などエコドライブのポイントが記されたエコドライブかるた(上)と、富山の売薬さんの紙ふうせん(右)



燃費を計測する機器を搭載したレンタカーに乗車し、富山国際大学の学生らが自分の運転の環境負荷度を体験したエコドライブ・チャレンジ

File.3
(発展助成)

(特定) 岩手子ども環境研究所(岩手県葛森)
森と人をつなぐ森林環境教育拠点作り
<http://www5d.biglobe.ne.jp/~morikaze>



斧(おの)で木を割り、銚(せん・ドローナイフ)で荒削り、竹や木の枝のバネを利用した足踏みろくろでスプーンを2つ合わせた形にひき、それを半分に割って小刀で削り、スプーンが完成。森の中で1日じっくり作るのも楽しい



間伐材や折れた枝などを生のまま削り、足踏みろくろや昔ながらの刃物を使って食器や家具などを作るグリーンウッドワークは環境に優しい技術。森と親しむ新たなプログラムに向けて、技術研修に取り組むスタッフ

事業は、新たな森との共生プログラムを展開するための、イギリス生まれの伝統的木工法「グリーンウッドワーク」の技術導入活動。平成21年1月21、22日、グリーンウッドワーク協会(岐阜県)から講師を招き、スプーン作りを通してスタッフなどが技術習得に励んだ。